



楽し、たのし！進む、すすむ！励む、はげむ！ われらの弦巻中学校

学校だより発行日 令和6年 6月26日

第3号 世田谷区立弦巻中学校長 加藤ユカ



『当たり前』のことが当たり前でできる』弦中生の素晴らしさ

加藤 ユカ

創立70年記念体育大会が終わりました。今年の体育大会を振り返って、弦中らしさがでていた体育大会だったなと感じました。体育大会だから『特別』がんばるのではなく、普段からの一生懸命頑張っている学校生活の延長として、コツコツと積み上げてきたことが、しっかりと発揮できていたことです。まさに『当たり前』のことが当たり前でできる』弦中生です。競技中はもちろんですが、応援中、係の仕事で…、自分も仲間も大切にし、全力で頑張る弦中生、心温まる「優しさいっぱい弦巻中」の体育大会でした。感動でした。「当たり前」のことが当たり前でできる」弦中生の強みです。素晴らしいことだと思います。そして、その背景には、保護者・皆様の支え「おかげさま」があつてのことと実感しています。

体育大会の開会式で私は、予行練習でもお話しした「レインボーカラー」について話しました。「レインボーカラー」は、「多様性」を表す色と言われています。「多様性を自分事として考え、他者を認める感性を高める人権教育」を進めている弦巻中ぴったりの色だと思います。今年度は1年生がE組までになったので、「橙色」が増えて、「赤・青・黄・紫・緑・橙」の6色となりました。これに「藍色」が加わると『レインボーカラー』となります。みんなが履いている「短パン」の色が「藍」。これを加えて、7色、レインボーカラーが出来上がりました。今年の体育大会は「多様性を認め合う、レインボーカラーの精神をもって頑張る」をほしかったので、このお話をしました。体育大会実行委員長の堀田彩音さんの優しさいっぱい心あふれる挨拶を聞きながら、こみ上げる涙を抑えることができませんでした。最後の最後まで、レインボーカラーの精神と委員長の挨拶に込められた思いがあふれている体育大会と私は感じました。体育大会実行委員を中心に、応援リーダーの皆さんも、練習の時からクラスをまとめ頑張ってくれました。弦和会役員・体育大会の係を担当して下さった保護者の皆様、子どもたちに配布された塩分タブレット、水分補給、パトロール等、本当にありがとうございました。安心・安全第一に、熱中症にかかることもなく、元気に体育大会で全力を尽くすことができました。テント設営・片付け等お申し出下さった親父の会の皆様にも、今年度お手伝いをいただきました。保護者の皆様をはじめ、優郷の学び舎から小学校の先生方、地域の皆様にもたくさんの応援をいただきました。体育大会は無事に終了しました。子どもたちや保護者の皆様の笑顔いっぱい溢れてくださっていたら幸いです。

最後に、体育大会実行委員長のあいさつ（体育大会プログラムより）と体育大会実行委員長田中満里奈先生の「体育大会を終えて」を紹介します。



体育大会実行委員長 3年B組

今年の体育大会のスローガンは「優勝を追いかけて 校庭を制す Let's go! 体育大会」です。各クラス協力し、練習に取り組んできた日々は、今日この日のためにあつたのです。また、スローガンに優勝を追いかけてとありますが、優勝することだけにとらわれず、仲間と協力し互いに励まし合いながら最善をつくしましょう。そして、共に戦う相手にもリスペクトの気持ちをもって正々堂々と戦いましょう。

1年生の皆さん、初めての体育大会をとことん楽しんでください。少し緊張するかもしれませんが、大丈夫です。私たち先輩が皆さんを温かく支えます。学年種目の台風の目は順位が練習の時と大きく変わることがあります。どのクラスも最後まで諦めずに楽しんでください。2年生の皆さん、再びこの特別な日を一緒に迎えることができ、嬉しく思います。学年種目のムカデ競争は、クラスの団結力なしでは成立しない競技です。声をかけ合い、息を合わせ、ムカデになったつもりで最後までかけぬけてください。3年生の皆さん、いよいよ最後の体育大会です。学年種目の大縄跳びの去年の最高回数を調べたところ、女子35回、男子70回、混合20回でした。この記録を超えて、この先破られないような大記録を3年生みんなで叩きだしましょう。勝ち負けを超えて3年生全員で盛り上げましょう。そして、何よりも楽しむことを忘れず、笑顔あふれる体育大会にしましょう。

最後に、体育大会を開催するにあたり、様々な方の協力がありました。そうした方々にも楽しんでもらえるよう感謝の気持ちをもってベストをつくしましょう。



体育大会を終えて

大会実行委員長 田中満理奈



6月1日(土)に行われた体育大会、開会式の実行委員長の話にもあった通り、昨年度から1クラス増え例年よりも多い人数で迎える体育大会となりました。保健体育の授業での練習から始まり、学年練習、全校練習、予行練習と練習を積み重ねて本番を迎えました。

本番では、競技だけでなく整列やラジオ体操、係の仕事に一生懸命取り組む姿勢をお見せすることができたのではないかと考えています。その取り組みの姿勢は、間違いなく3年生が練習の段階から行動で、背中を示してくれたものだと思っています。特に印象的だったのは直前の全校練習です。3年生の実行委員が練習を進めていき、最後に本番に向けた意気込みを発表しました。発表した3年生全員が自分の言葉で、大事だと思うことを伝え、本番頑張ろうと伝えた姿に3年生の成長を強く実感しました。その姿を見た全校生徒がさらに気を引き締め、本番頑張ろうという顔になったのを覚えています。そして3年生の学年種目『大縄跳び』では去年の最高記録を更新するなど団結力を見せてくれました。そんな3年生の姿を見た1, 2年生が来年、さらに良い体育大会を作り上げてくれることを楽しみにしています。

保護者の方や地域の方、様々な方のご協力のおかげで令和6年度弦巻中学校体育大会を無事実施することができました。皆様本当にありがとうございました。来年度の体育大会もどうぞよろしくお願いいたします。

生徒会担当 小杉 誠人

体育大会の応援リーダーの練習が始まったのは4月23日。教室に集まった応援リーダーたちの何もわからない不安そうな顔は、強く印象に残っています。そこから1か月。限られた練習時間の中で、応援団長を中心に一生懸命取り組み素晴らしい応援を作り上げてくれました。本番の朝を迎え、「大丈夫かな？」という私の不安な気持ちに対して、応援リーダーたちの自信に満ちた顔は、素晴らしい演技につながりました。応援リーダー、一人ひとりの真剣で大きな声が、しばらくは頭から離れなくなりそうです。



1年河口湖移動教室を終えて

1年 浅野 正太・石田 圭

5月22日(水)から24日(金)の3日間、第一学年の生徒は4年ぶりに2泊3日の河口湖移動教室へ行ってきました。事前準備では、山梨に関する事前学習を行い、クイズや動画を通して山梨県や河口湖について理解を深めたり、興味を高めました。また、行動班・宿舎班での役割分担や係会を行い、それぞれの役割を確認して、全員で河口湖移動教室を成功させる意識を高めることができました。さらに、きまりの検討を行い、自分たちでルールに関して意見を出し合いました。しおりの読み合わせも丁寧に行い、行程を自分で確認しながら、班長を中心に自分たちで動けるように準備を進めました。それだけでなく、学級委員を中心に河口湖移動教室実行委員を組織し、「みんなで一致団結!! 自然を大切に、絆を深める河口湖移動教室にしよう」というスローガンを決定し、各クラスを中心になって準備を進めました。

1日目は、富士山の五合目から散策を行ったり、おいしいけんちん汁を仲間と一緒に食べたり、宿舎でうどん作り体験を行いました。自分たちで作ったうどんを食べた後は、河口湖移動教室実行委員主催のクラス対抗のクイズ大会を行いました。山梨県や富士山、河口湖に関するクイズや先生クイズをして盛り上がりました。

2日目は、オリエンテーリングを行いました。班長を中心に約3時間、3つのコースに分かれて出発しました。途中で、班員ではぐれてしまう班もありましたが、無事にすべての班がゴールしました。ゴールした後の、疲れと混在する達成感にあふれる姿から、たくましく成長したことを感じられました。夜には、校歌コンクールを行いました。各クラスで練習をした後、校歌をそれぞれのクラスで歌いました。弦巻中学校の校歌を全力で歌う姿がとても立派で、10月の学芸発表会の合唱コンクールが楽しみになりました。

3日目は、酪農体験を行いました。別々の牧場に行き、バターづくりや牛の乳しぼり体験などを行いました。なかなか世田谷ではできない体験や景色を楽しみながら、体験や牧場の方からのお話を通して「命の大切さ」に

ついて改めて考える有意義な時間になりました。

宿舎では、きまりや時間を守りながら、室長を中心に5分前行動を意識して行動することができました。集合や整列も徐々に素早く、静かに並ぶことができる姿が見られ、3日間でもぐっと成長を感じられました。入学してまだ1か月ほどですが、自分たちで声を掛け合いながら、きまりや時間を守って行動する意識を高めることができました。ガイダンスでも、「河口湖移動教室を成功させることが修学旅行を成功させる大きな一歩になる」という話をしました。2年生の校外学習、3年生の修学旅行にむけてさらに大きく成長を予感させる充実した3日間になりました。この河口湖移動教室を通して学んだことを普段の生活にもいかし、さらにレベルアップした姿が見られるのを楽しみにしています。



<人権・平和コーナー>



今年も2階中央階段踊り場に、図書室と連携して「人権・平和コーナー」を設けています。知っていますか？

毎月、『今月の人権』をテーマに、本を用意していただいています。先月は「いじめ」、今月は、「戦争と沖縄」になっています。昨年度も人権講演会の扱う人権課題にあったテーマで、自ら学びが深められるようにと本を紹介してくれています。時々、手に取って眺めている生徒を見かけました。ぜひ、手にとってみてください。

さて、6月23日は、太平洋戦争末期の日本で唯一の地上戦が行われた沖縄戦で旧日本軍の組織的戦闘が終結したとされる日から79年目「慰霊の日」を迎えました。最後の激戦地となった糸満市摩文仁の平和祈念公園では日米の犠牲者計約20万人を悼む沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年、沖縄の子供たちが書いた平和の詩が読み上げられます。今年は、高3・仲間友祐さんの「これから」です。平和をずっと願い続ける決意を題名に込めたそうです。戦争がなくなる現実にあきらめそうになる時もある。それでも希望を捨てない。「平和を祈ることは微力かもしれない。自分で全ては解決できないけれど、全員が祈れば戦争は避けられる」と。



この平和の詩に込めた思いに触れ、今年の4月にナガサキへ修学旅行での平和集会での「平和宣言」を思い出しました。私たちの平和への願いを思い続けること、願い続けること、考え続けること、みんなでそれをし続けることが大切だとあらためて感じました。

☆2024年7月3日 お札が変わります☆

2024年7月3日に、一万円、五千元、千円の3券種が改刷されます。新しいお札は、150年以上にわたり培った偽造防止技術の結晶。ユニバーサルデザインも取り入れられているそうです。右の肖像画は、国立印刷局の工芸官がお札の肖像画として新しく作製したものです。この肖像画がお札に印刷されています。早く手に取ってみたいです。



新しいお札の顔、3人を紹介します。 ○1万円札：渋沢 栄一（しぶさわ えいいち）(1840～1931)

埼玉県深谷市出身。日本の実業家と言われています。江戸時代末期に農民から武士に取り立てられ、一橋慶喜に仕えました。27歳の時、第15代将軍徳川慶喜の実弟徳川昭武のお供でパリ万国博覧会を見学し、欧州諸国を訪問。明治維新が起こり、欧州から帰国すると、静岡に「商法会所」を設立。その後、明治政府で、大蔵省の官僚として、造幣、戸籍、出納など、さまざまな政策立案を行い、新しい国作りに深く関わりました。退官後は実業界で、第一国立銀行、東京商法会議所、東京証券取引所などの企業や団体を設立・経営。生涯に約500社の企業に関わり、「日本近代社会の創造者」と称されます。同時に約600の教育機関や社会公共事業、研究機関等の設立・支援にも尽力し、「論語と算盤」の言葉に代表される「道徳経済合一」の思想でも知られています。渋沢栄一さんのひ孫の渋沢寿一さんが、現在世田谷区の教育委員をされていて、世田谷にも縁が深い方です。

○五千円札：津田 梅子（つだ うめこ）（1864～1929）

東京出身。日本の女子教育家。女子英学塾（現・津田塾大学）の創設者。幕末の農学者で、江戸幕府の外国奉行支配通弁（通訳官）を務めていた津田仙の次女で、1871年、6歳の時に日本最初の女子留学生として岩倉遣外使節団と共に渡米しました。ワシントン近郊のジョージタウンに住むランマン夫妻の元に約11年間滞在し、17歳で帰国し、華族女学校教授に就任しました。女性の地位を高めるために自分自身の学校を作りたいと願う梅子さんは、1889年、再渡米し、ブリンマー大学で生物学を専攻しました。1892年に帰国。華族女学校、女子高等師範学校（現・お茶の水女子大学）で教鞭を執った後、1900年、女子英学塾（のちの津田塾大学）を創設。生涯を通じて、女性の地位向上と女子高等教育に尽力しました。

○千円札：北里 柴三郎（きたさと・しばさぶろう）（1853～1931）

熊本県小国町出身。「近代日本医学の父」と呼ばれる細菌学者。肥後国阿蘇郡小国郷北里村（現在の熊本県阿蘇郡小国町北里）の庄屋の長男に生まれ、幼少期は、四書五教などの儒教を学びます。1871年、18歳で古城医学所兼病院（現・熊本大学医学部）にて、オランダ人軍医マンスフェルトに師事し、医学の道へ進みました。1874年、東京医学校（現・東京大学医学部）入学し、在学中に予防医学を生涯の仕事とすることを決意し、卒業後は内務省衛生局に勤務しました。1885年にドイツに留学、1886年からベルリン大学のコッホに師事。1889年、世界初の破傷風菌培養に成功、翌年、破傷風菌抗毒素を発見して世界を驚かせました。さらにそれを応用して血清療法も確立。1892年に帰国後、伝染病研究所を創立しました。その後、慶應義塾大学医学部の創設、日本医師会などの医学団体や病院の設立など、社会活動も積極的に行いました。

花火募金やっています！

職員室で

祝・創立70年 弦巻中学校

記念行事第2弾「打ち上げ花火」

令和6年7月26日（金）午後7時30分スタート

お家の方々、お友達、近所の人を誘って、広い弦巻中の校庭が使えるものと僅か。最後に弦中でしかできないイベント！！みんなで同じ景色を目に焼き付けよう

人格の完成をめざして
○責任 あなたの行動を自覚して行動していきましょう。
・家族の一言一つ、毎日家事を分担してください。
自分のやらなければならないこと「所懸命取り」組みます。
・社会のルールや法を守ります。
・自分の約束したことは、最後までやり遂げます。

<今月・来月の予定> ※人権教育の一環として、毎月人権に関わるカレンダーを掲載します。
※7月は、保護者会・引き渡し訓練・三者面談があります。よろしくお願いします。

6月の予定		7月・8月の予定	
6月 1日（土）	体育大会 人権擁護委員の日	7月 3日（水）	専門委員会
3日（月）	振替休業日	4日（木）	生徒会朝礼
4日（火）	6日（木）体育大会予備日	5日（金）	連合球技大会（組）
5日（水）	世中研：特別時程・午前授業	11日（木）	～13日（土）学校公開期間
7日（金）	専門委員会	12日（金）	保護者会（全学年） 進路説明会（3年）
10日（月）	安全指導・生徒会朝礼	13日（土）	引き渡し訓練
11日（火）	避難訓練	18日（木）	人権講演会（予定）大掃除
12日（水）	世中研：特別時程・午前授業	19日（金）	終業式
13日（木）	歯科検診（全）	20日（土）	夏期休業日始
14日（金）	セーフティ教室・警察との意見交換会	21日（金）	夏季休業日始
18日（火）	学校協議会・学校運営委員会	22日（月）	～26日（金）教育相談
20日（木）	歯科講話（組・1年）	26日（金）	創立70年記念「打ち上げ花火」
23日（金）	沖縄「慰霊の日」	7月	社会を明るくする運動～犯罪・非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～強化月間・再犯防止啓発月間
23日～29日	男女共同参画週間	8月	全国一斉「子どもの人権110番」強化週間
24日（月）	～26日（水）期末テスト	8月13日（火）	～17日（土）学校休業日
27日（木）	水泳指導始まり	28日（水）	29日（木）区音楽発表会（吹奏楽部）
		31日（土）	夏季休業日終
		9月 2日（月）	始業式

毎月10日
あいさつ・声かけの日

<本校のホームページをご覧ください。http://school.setagaya.ed.jp/ttsuki>

学校日記は携帯電話からもアクセスできます。右のQRコードが携帯サイトです。

携帯サイトは、緊急のご連絡を掲載することもあります。ご利用ください。

携帯では通信費がかかります。

今年度も、HPを充実させてまいります。よろしくお願いします

